

社内コミュニティマネージャーが描く、"はたらく"の未来

Open Innovation Biotope "Cue"

シゲキ

ヒラメキ

ツナガリ



Cue

Open Innovation Biotope



株式会社 オカムラ
中部支社 マーケティング課
セールスプロモーションセンター

小倉 悠希 久岡 伸功 河田 佳美



はたらくの未来共創チーム

Open Innovation Biotope “Cue” 企画・運営

1. オカムラについて
2. 共創空間について
3. WORK MILLについて
4. 新規事業開発について



OKamura

会社概要

社名 : 株式会社オカムラ (OKAMURA CORPORATION)
本社 : 神奈川県横浜市西区北幸1-4-1 天理ビル19F
創業 : 1945年
資本金 : 18,670百万円
従業員 : 3,834名 (2021年3月31日現在)
売上高(連結) : 244,454百万 (2020年度)

事業領域 : オフィス環境事業、商環境事業、物流システム事業
(パワートレーン事業)

生産拠点 : 追浜/つくば/高畠/富士/中井/御殿場/ 他
海外拠点 : シカゴ、ロンドン、ロッテルダム、シンガポール、上海、
香港、ジャカルタ、バンコク、クアラルンプール、
ホーチミン



This is Okamura.

株式会社オカムラは

「豊かな発想と確かな品質で、人が活きる環境づくりを通して、社会に貢献する。」
を企業ミッションとし、全ての人々が笑顔で生き活きと働き暮らせる社会の実現に
貢献します。

オカムラウェイ

オカムラのミッション

豊かな発想と確かな品質で、人が活きる環境づくりを通して、社会に貢献する。

オカムラ宣言

人を想い、場を創る。

私たちの基本姿勢

私たちにかかわる、全ての人の笑顔のために

SMILE

オカムラの経営理念「オカムラウェイ」は、ミッション（果たすべき役割）、オカムラ宣言（あるべき姿）、私たちの基本姿勢（大切にしている価値観）の3つで構成され、全ての根幹には、「人が活きる」という視点があります。オカムラグループで働く一人ひとりが、これを日々の事業活動や意思決定における拠りどころとして、一貫した想いを持って行動することを目指しています。

オカムラのDNA

1945



横浜市磯子区岡村町に共同の工業として

オカムラ誕生



創業当時製造していた日常生活用品



スチール製のクラブ用テーブル&チェア
セット



創業者・吉原謙二郎

オカムラのDNA

1951



日本初の純国産トルクコンバータの開発に成功

オカムラのDNA

1953



「N-52」

1953年4月7日浜松飛行場で初飛行

オカムラのDNA

1955



FF方式、国内初のトルクコンバータ式オートマチック車
「ミカサ」開発

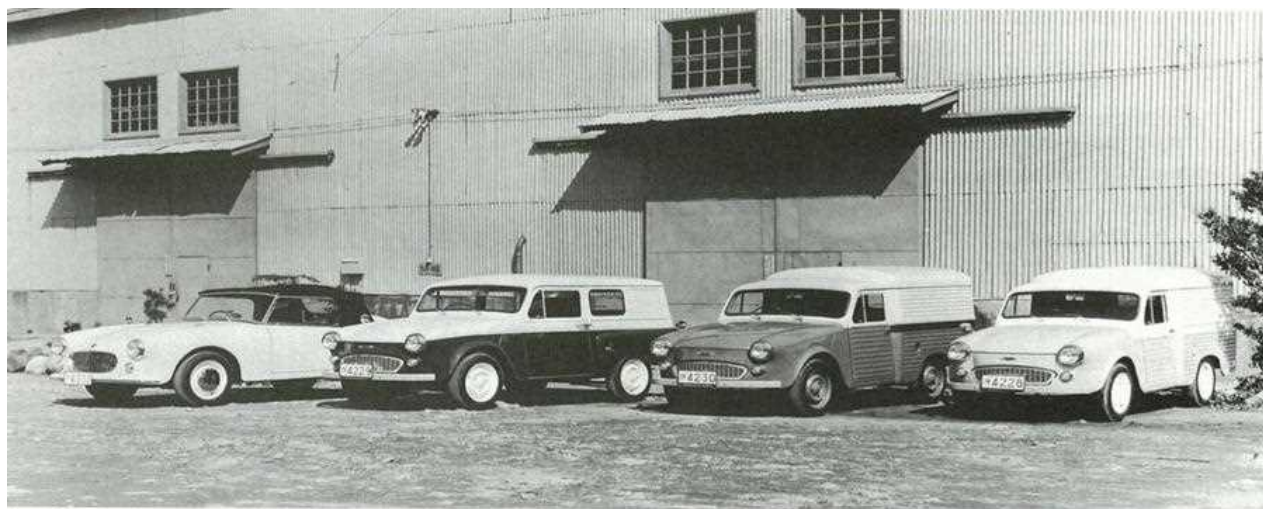
オカムラのDNA



1957年 第4回自動車ショー 日比谷公園



1959年 第6回全日本自動車ショー 晴海



1958年 追浜工場「ミカサツーリング」「マークⅠ」「マークⅡ」 2台

オカムラのDNA

okamura

日本初のFFオートマチック車「ミカサ」の
オートマチック・トランスミッションが
2015年、「機械遺産」に認定されました。

※機械遺産とは、歴史的意義のある機械技術遺産を大切に保存し、次世代に伝えることを目的に、一般社団法人 日本機械学会が認定する制度です。




技術の力で、世界に通じる革新的な製品を。
オカムラには今も、「ミカサ」の
モノづくり遺伝子が息づいています。

オカムラは1951年、初の純国産トルクコンバータを開発。そして、実産種を組み合せ、
日本初FFオートマチックトランスミッション車「ミカサ」を1955年に生み出しました。
それから50年、その事業的なモノづくりの精神は、オカムラ事業に引き継がれ、
世界のおカムラの製品づくりに継々と受け継がれています。

The DNA of okamura

よい品は結果をつくります
オカムラ
株式会社 岡村製作所

機械遺産に認定された技術

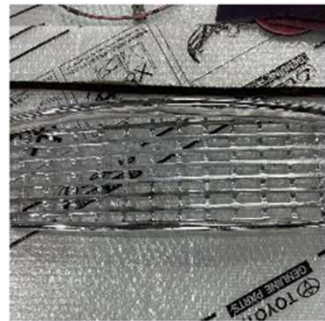
2015年7月24日、日本初のトルクコンバータ式オートマチック・トランスミッション車である「ミカサ」に搭載した1951年開発のトルクコンバータが、一般社団法人 日本機械学会により「機械遺産」(※)に認定されました。



※「機械遺産」は、歴史に残る機械技術遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本国内の機械技術に関わる歴史的遺産を一般社団法人日本機械学会が認定するものです。

オカムラのDNA

ものづくりスピリットの継承 ミカサツーリングのレストアプロジェクト



国内生産へのこだわりから生まれる高品質のプロダクト

業界最多の国内生産拠点で生み出されるオカムラ製品。徹底した品質管理により実現する高いクオリティはもちろんのこと、安定した供給力やスペシャルオーダーへのきめ細やかな対応、そしてリードタイムの短縮効果で、確かな信頼をお届けします。



事業紹介



商環境事業

次々と新たな形態が登場する小売店。時代とともに変化する売り場をプロデュースするために、多様な製品が誕生しました。



オフィス環境事業

ワークスタイルの変化に応じた快適な空間を追求し、デザイン性と機能性に優れた製品を世に送り出してきました。



物流システム事業

ロジスティクスの効率化、そして倉庫内スペースの有効活用のために、常に先進のシステムを生み出してきました。



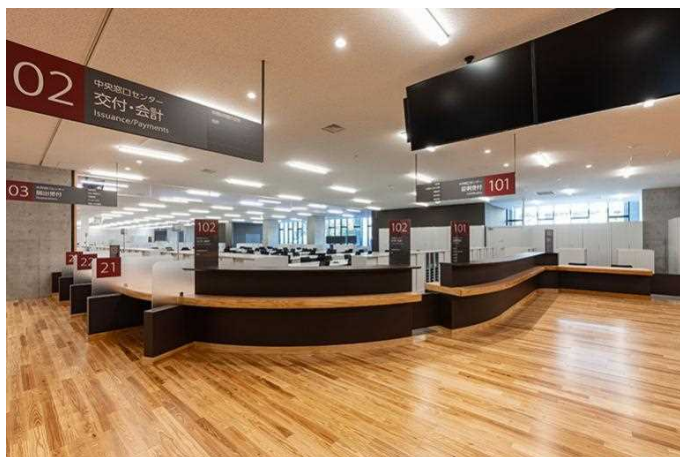
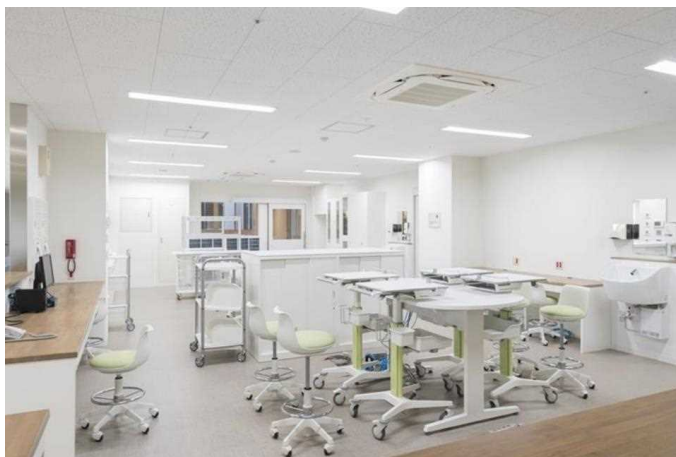
商環境事業



物流システム事業









1. オカムラについて
2. 共創空間について
3. WORK MILLについて
4. 新規事業開発について





株式会社 オカムラ
中部支社 マーケティング課
セールスプロモーションセンター

小倉 悠希 久岡 伸功 河田 佳美



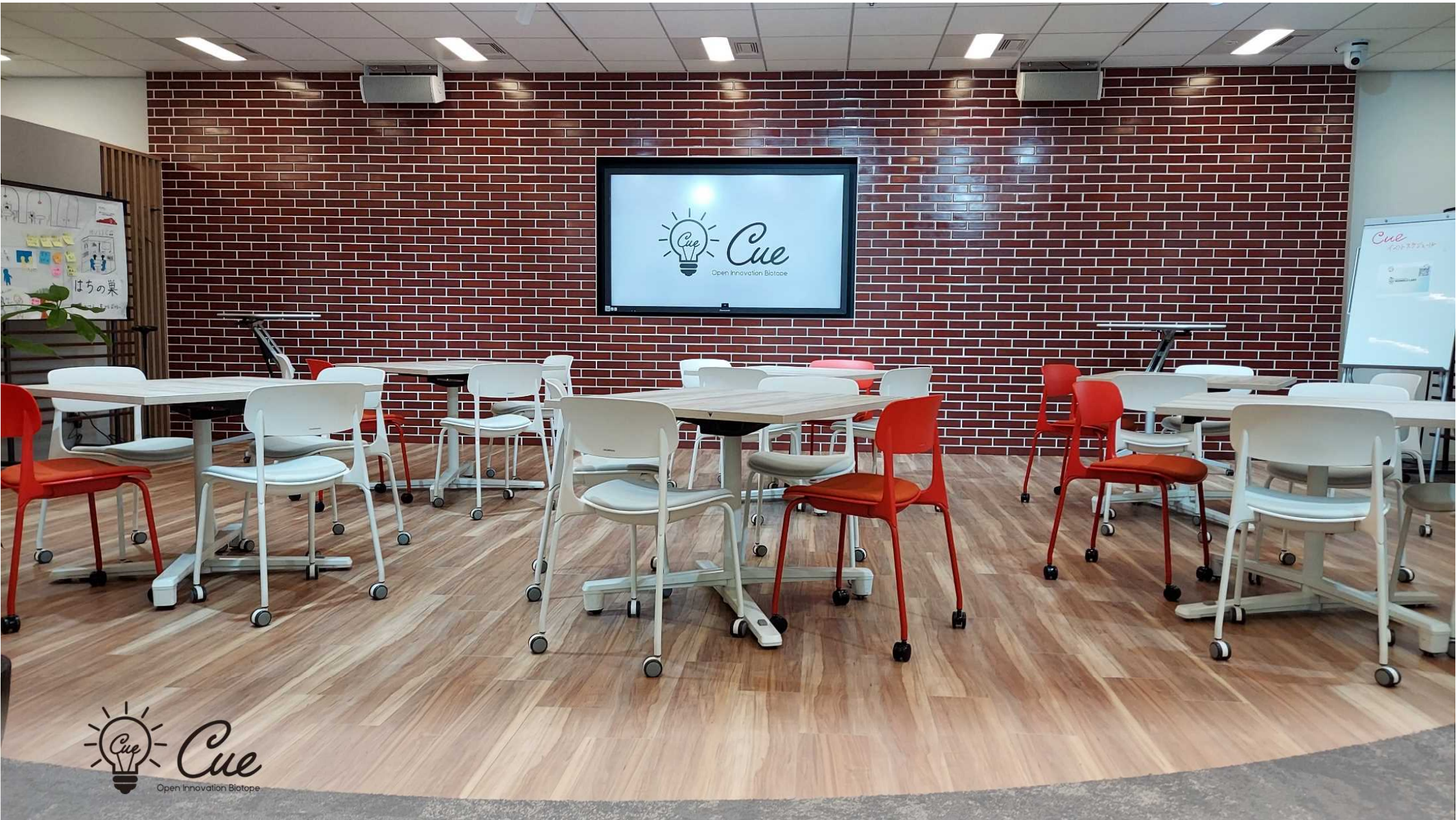
はたらくの未来共創チーム

Open Innovation Biotope “Cue” 企画・運営

CO-CREATION SPACE / 共創空間



業種や組織の枠を超えた多様なステークホルダーの方々と
新たなつながりやひらめきが得られるような活動、発信を
ここ名古屋からしています。



「はたらく」のワクワク、みつけた。

ツナガリ 多様性

肩書き、職種、年齢などにとらわれずに場を開き、そこに集まる人たちのゆるやかなツナガリをデザインします。

シゲキ 継続性

非日常な空間での対話で知的好奇心や感性をシゲキし、コミュニティやプロジェクトを育みます。

ヒラメキ 実効性

対話を深め、手を動かしたりアクションを起こすことによってヒラメキをかたちにする。その感覚や体験を共有します。



<https://cue.workmill.jp/>





Sustainability Lab. @ 共創空間・Open Innovation Biotope “Cue”

サステナビリティ担当者の学び合いのコミュニティ

自分や自分の所属する組織、周りや地域がもっとすてきに輝く、
自然の豊かさと人の豊かさを感じる、サステナブルな世の中の実現にむけて、
少し新しい行動ができるようにつながりやアクションを後押しする。



つながる



担当者どうしが出会い、つながり、仲間に。

学び合う



知りたい、伝えたい、の気持ちからつくる学びの場。

踏み出す



ムーブメントを起こす、その一歩を。

PICK UP TOPIC

ともに、 探究する

探究学習とは？

「自ら学び、自ら考える力」を育てる学習。

2020年度の「学習指導要領」改定により学校現場での取り組みが進んでい

高校生インターンシップ

夏休み期間中の3日間で、Cueからのミッションに探究的に取り組みます。学校も学年も異なる、ここで初めて出会った高校生がチームを組み、対話やアイデア出し、プレゼンテーションを体験。



金城学院大学

ソーシャルウーマンプロジェクト

共創をテーマとして、身近な困りごとや社会課題に探究的にアプローチ。課題を自分ごととしてとらえ、仲間と一緒に創造的に向き合います。



コーポレートアクセス

株式会社教育と探求社が提供する、探究学習プログラム。実在する企業へのインターンを教室で体験し、働くことの意義や経済活動について中高生が学び、企業は中高生とのかかわりから多くを学びます。





オカムラが運営する4つの共創空間

全国4か所にある共創空間では、どなたでも参加可能なイベントのほか、課題解決や価値創造のニーズにお応えする共創支援を行っています。



オカムラの共創空間ができること

働き方・働く場の観点からさまざまな共創づくりをサポート。
フラットな信頼関係を育みながら、「人×場」で新しい価値を生み出します。

事例 **1** 社内共創づくり



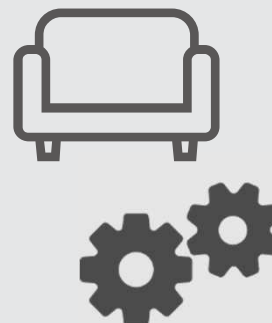
部門や役職の垣根を超えた
交流を促す

事例 **2** 社外共創づくり



多様なステークホルダーと一緒に
これからの「はたらく」を考える

事例 **3** 共創環境づくり



共創を育むための場を
ともに作り出す

事例 **4** 共創人財づくり

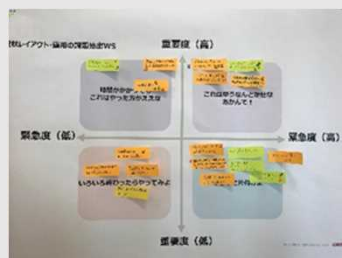


共創をリードする人財を
育てていく

共創事例① 社内共創づくり

okamura オカムラ社内 オフィス改善ワークショップ

・より良いオフィスにするためのワークショップ



オカムラ関西支社のオフィスをより良いものとしていくために、現状のレイアウトや運用上の課題を抽出。重要度や緊急度で分類し、改善につなげた。部門や役職を超えて入居者同士が意見を交わすことで、当事者意識も育まれた。



サンスター様・三菱電機様・デンソーテン様・オカムラ 4社若手交流会

・若手社員を中心とした合同交流会



サンスター様・三菱電機様・デンソーテン様・オカムラの若手社員が一堂に会し、交流会を実施。小グループに分かれ、和やかな雰囲気の中でそれぞれの抱える思いを共有し合った。他社メンバーはもちろん、社内のメンバーともいつもと違う環境での本音の対話は、貴重な時間に。

共創事例② 社外共創づくり



阪神阪急不動産グループ様

ワークショップ®&トークイベント

- ・ワークショップ/フィールドワーク
- ・共催イベント開催（阪急阪神不動産/JLL/オカムラ）
- ・イベントレポート発信



※ワークショップ風景



コロナショックを契機に、阪急阪神様とオカムラの若手メンバーが中心となった研究会を発足。「梅田の街の未来」について考えるワークショップ・フィールドワークを実施した。その取り組み内容を、公開イベント（リアル/オンライン）やレポート記事としてWORK MILLから発信。



※先方取締役の登壇イベント



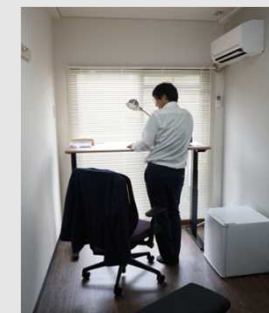
※イベントレポート



丸紅リアルエステートマネジメント様

アトリエWORK プロジェクト

- ・新たな価値を創出するための実証実験プロジェクト



丸紅リアルエステート様の運営する独身寮を有効活用するため、テレワーク拠点として再整備する実証実験を行った。ちょうどいい広さの個室に、ワーカーのために設計された家具を配置し、個人が集中・リラックスして働ける場を実現。「アトリエWORK」利用者へのアンケート調査等を通じて効果や改善点を探った。

共創事例③ 共創環境づくり



神戸市様

「あすてっぷ コワーキング」

- ・「健康オフィス神戸」事業を共創
- ・女性の働き方をテーマとしたイベント&ワークショップ
- ・コワーキング施設を新設

「あすてっぷ コワーキング」内観



※「健康オフィス神戸」事業

1本の問合せメールから始まり、「健康オフィス神戸」事業を共創。その後も、女性の働き方をテーマとしたイベントを継続的にプロデュース。こうした取り組みをきっかけに、女性のためのコワーキング施設「あすてっぷ コワーキング」を神戸市男女共同参画センター「あすてっぷKOBE」1Fに構築した。



※イベント風景



※ワークショップ風景



近畿大学様

情報学部「On Demand Salon」

- ・オープンファクトリー「こーばへ行こう!」開催
- ・学生のための交流&学習スペースを新設

「On Demand Salon」内観



※こーばへ行こう!の様子

東大阪市を中心としたものづくり企業の輪へ参画し、オープンファクトリー「こーばへ行こう!」を開催。産学自治体連携で工場のまちびらきを行った。その繋がりから各ものづくり企業のもつ技術を結集し、近畿大学情報学部の校舎内に「On Demand Salon（オンデマンドサロン）」を構築した。

共創事例④ 共創人財づくり

okamura オカムラ社内 傾聴 & コミュニケーション研修

・「傾聴」をテーマとした社内研修



顧客の真の願いを引き出し、社内で仕事を円滑に進めるために重要な要素である「傾聴」をテーマとした研修を実施。スキルを学ぶとともに、多様なコミュニケーションワークを通して傾聴し合うことで相互理解を深め、風通しの良い組織づくりを模索した。

三菱電機様 エンゲージメントセッション

・「気軽に真面目な雑談」を交わすセッション



三菱電機様の社内研修をプロデュース。共創パートナーのファシリテーションのもと、仕事を離れ、縦割りの組織の壁を越えたメンバーと「働くこと」についてさまざまな切り口から考える機会を提供した。



1. オカムラについて
2. 共創空間について
3. WORK MILLについて
4. 新規事業開発について



WORK MILL

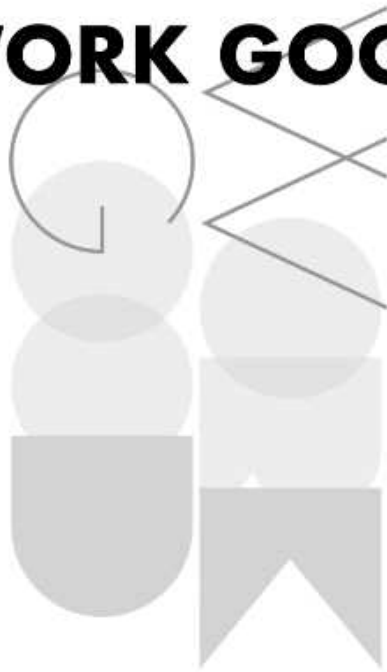
働く環境を変え、
働き方を変え、
生き方を変える。

オカムラは、オフィス家具づくりを中心に、
半世紀以上働く環境について考えてきました。
そんなオカムラのメンバーを中心に、
「はたらく」を変えていく活動。それが、WORK MILLです。
オープンな共創プロセスのもと、一人ひとりの
「WORK GOOD」のヒントをつくっていきます。

Vision

WORK MILL

WORK GOOD



自分をつちかい
仲間とつながり学び合い
共にあたたかい社会をつくる

WORK MILLは
それぞれのはたらくを見つめ
これからはたらくを
創造する場です

「はたらく」を変えていく活動。それが、WORK MILLです。
オープンな共創プロセスのもと、一人ひとりの「WORK GOOD」のヒントをつくっていきます。

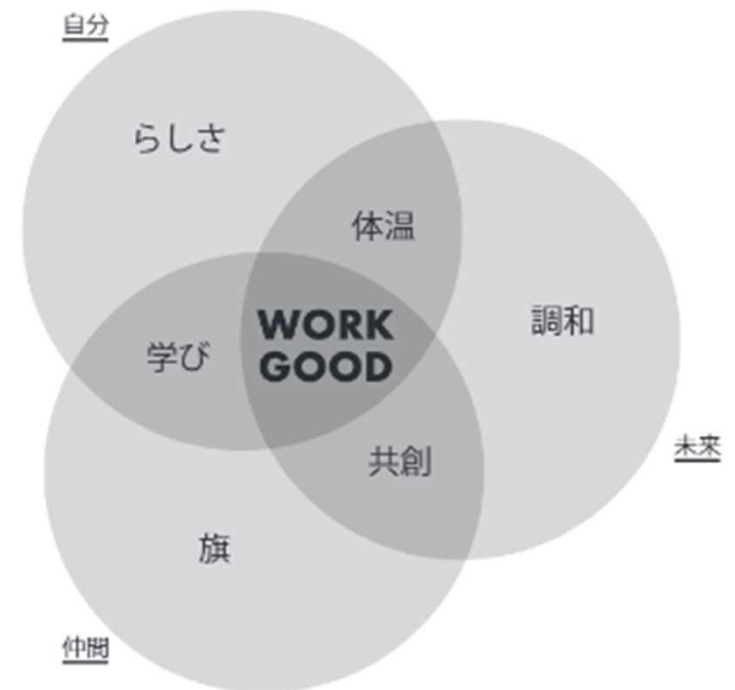
行動指針

6 “MILL”s

「WORK GOOD」を
叶えるための
6つの行動指針

-  **旗**
目的や志の旗をかかげ、共感する人を集める
-  **共創**
仲間と共に、新しい価値を挽き出す
-  **調和**
次世代や地球全体を見据えて、未来をつくる

-  **らしさ**
自分のはたらくを見つめ、主体的に描く
-  **体温**
わくわくを見つけ、行動し、まわりに広げる
-  **学び**
未知なるものを見出し、学び合う



01

リサーチメディアによる 「はたらく」の探究・発信活動

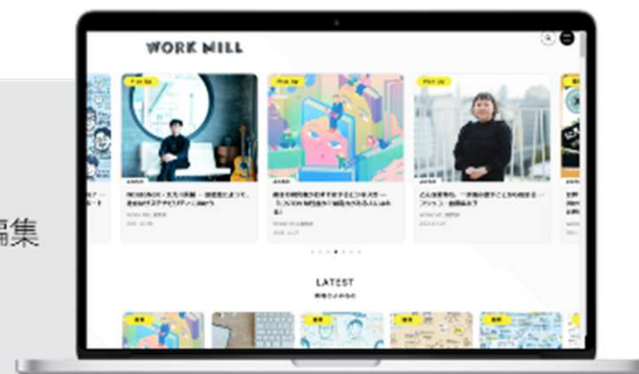
\ すぐ見られる /

WEBマガジン

2015年12月開設。「はたらく」をより深く本質的に考えるため、独自の取材・調査・編集のもとオリジナルコンテンツを発信。

毎日更新

workmill.jp/jp



\ 手に取れる /

ビジネス情報誌 with Forbes JAPAN

2017年の創刊から計9冊発刊。Forbes JAPAN編集部とのコラボレーションによる、「はたらく」を考えるビジネス誌。経営戦略の視点から、働き方や働く場の情報を発信。

累計**11**万部発行



02 全国4拠点の共創空間による ステークホルダーとの共創活動

＼ 訪ねに行ける ＼

東京・Sea

名古屋・Cue

大阪・bee

福岡・Tie



「はたらく」をテーマとした共創空間を2015年から開設、運営。
多様な方が参加できる場を提供し、価値創造のための共創支援も実施。

イベント **1,020**回以上 & 参加者 のべ**41,650**名

※2023年度まで4拠点（東京・名古屋・大阪・福岡）での総数 ※オンラインを含む



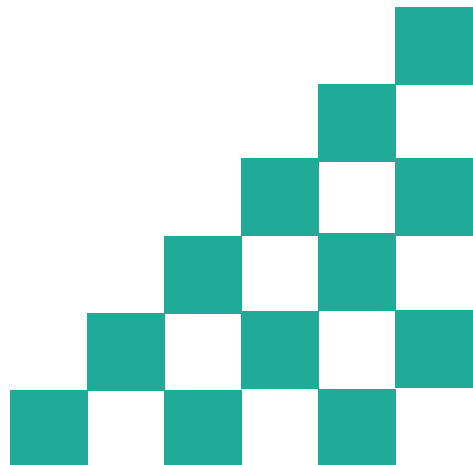
イベント情報
←

1. オカムラについて
2. 共創空間について
3. WORK MILLについて
4. 新規事業開発について



挑戦するスタートアップの
成長を支える

NovolBa
—— 昇る場 ——



Office Business



BASIC OFFICE Service

5〜30人用の一社占有家具付きオフィス

- ✓ 10坪 5名利用で月額1.6万円〜
- ✓ 渋谷、新宿、五反田、東日本橋 等
- ✓ 最低6か月から契約
- ✓ 入居人数分の家具、Wi-Fi、プリンター込



家具ホーダイ!! Service

入替え可能な中古家具のサブスクリプション

- ✓ 1年目 坪3,000円〜
- ✓ 23区内、横浜
- ✓ 月額費用内で、家具の入替え可能
- ✓ 要件に合わせたレイアウト提案



ノボルバディ Service

増づくりの右腕に、移転を丸ごとお任せ!

- ✓ 移転プロジェクトマネジメント
- ✓ ワークショップ
- ✓ レイアウト設計
- ✓ 移転PR戦略

NovolBa
—— 昇る場 ——

City Farming オフィス向けパッケージ

City Farming with Okamura



みせいくラボ

お店の未来を創造する研究所

お店づくりを通して
人と人とのつながりを
デザインし、
未来の幸せな暮らしをつくる。



All rights reserved. 2021

共創空間の役割とは？

- ✓ 課題について上下関係なくフラットに話し合う
- ✓ 組織の垣根を越えて、様々な知見を出し合う
- ✓ 考えを形にしたり、実際に試してみたりする
- ✓ 失敗を許容し、試行錯誤を繰り返しながら、答えを目指す

その場で、コミュニケーションが許容されるような、
象徴的な場としての共創を喚起する雰囲気がある



コミュニティマネージャーの視点から

ふりかえったときに
新しいおもしろいなにかが
ここから生まれているように

新しい価値のタネが
集まったり飛び立ったり

まいたり育てたり工夫する
多様な人がゆるくツナガル



Open Innovation Biotope “Cue”

